


2018～2019 年度国際ロータリーのテーマ

# インスピレーションになろう

●会長 白石 繁  
●幹事 村瀬 直久

 No.1651 平成 31 年 03 月 06 日 第 32 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)



インスピレーションになろう

## ■点鐘

## ■国歌斉唱「君が代」

## ■熊本東南RCの歌「Joyful And Good」 (ソングリーダー 鷺山法雲)

「ジョイフル アンド グッド (Joyful and Good)」

作詞 長期戦略委員会

作曲 LAMMY MUSIC

「未来」

作詞 長期戦略委員会

作曲 彌富 敏宏

## ■今月の誕生祝い

### 【会員】

鷺山法雲 君 3月31日

前田昭博 君 3月2日

### 【配偶者】

草村久美 様 3月16日



## ■会長の時間

(会長 白石 繁)

### ◆あの縁側はどこにいった？

私たちの生活様式が西洋化するなか、住宅のプランもその例外ではありません。私たちが幼い頃はどこのお家にも必ず縁側がありました。子供たちはそこで足をブラブラさせながら皆並んでスイカを食べ、種の飛ばしっこをしたものです。縁側に干された布団に寝転ぶとなんとも言えない気持ちのいい「お日様のにおい」がしたものです。もちろん縁側を楽しんでいたのは子供たちばかりではありません。大人たちもご近所さんとお茶を飲みながらノンビリと四方山話に花を咲かせたものでした。

ところが近年、ややもすると縁側は「無駄な空間」と認識される



傾向があるようです。縁側で楽しんだあの「時間と空間」はどこに行ってしまったのでしょうか。

建築学では、縁側空間は日本独特のものと言われています。長い歴史のなかで日本だけで育まれた独

特の空間です。外部空間ではない、かと言って内部空間でもない、いわゆる「中間的な空間」となっています。西洋のバルコニーやテラスにはない空間構成です。縁側は「独特の空間の質」を醸し出しています。このあいまいな「中間的空間」は、人の気持ち



を解きほぐす力をもっています。

要因のひとつには座るときは、必ず外を見ながら並んで座ることにあるのかもしれませんが。縁側では顔を見合わせて座ることはまずありません。このことが互いに緊張感を取り除き気持ちをほぐしてく

れるのかもしれませんが。引いては、話をする「内容」や「会話の間合い」そして「受け答え」も自ずと変わってきます。「飲み屋さん」でBOXに座ったときとカウンターに座ったときの違いに似ているような気がします。

住宅にも家族と程よい距離感で素直な気持ちでおしゃべりする空間はほしいものですね。最近 年頃になった娘さんとおしゃべりすることが少なくなったと言うお父さん。子供たちも巣立ち奥様とのおしゃべりが少なくなったご主人様。嫁の振る舞いが何かと気に入らない姑(しゅうとめ)さん。

お宅に縁側はありますか？。あれば多に活用致しましょう。もし無ければ、お使いの食卓やソファのレイアウトだけでも今一度見直したら如何でしょうか。横に並んでおしゃべりをすれば、忘れかけていたお互いの気持ちに改めて気づき合うかもしれませんよ。日本独自の「縁側の空間」には、人を優しくし、人間関係を和ませてくれる不思議な力があるような気がしてなりません。



## ■幹事報告

(幹事 村瀬直久)



1)

瀧満ガバナーエレクト、硯川昭一ガバナーノミニーより、会長ノミニー研修セミナーの案内。

日時 2019年5月12日(日) 11:30～14:30

場所 ホルトホール大分

登録料 1,000円

2)

河野誠男 青少年奉仕部門長、地区ローターアクトより、第32回熊本グループ留学生交流会の案内。

日時 2019年4月13日(土) 10:30~15:40  
 場所 玉名市民会館、玉名勤労者体育センター  
 登録料 3,000円

3)  
 地区ローターアクトより、菊池公園お花見清掃活動の案内。

日時 2019年3月24日(日) 10:00~14:30  
 場所 菊池公園  
 参加料 1,000円

4)  
 瀧満ガバナーエレクト、川原田和廣 地区幹事、大東慶久 地区財務委員長より、2019~2020年度地区予算承認の件

内容 2019~2020年度 PETS資料 P-61~64の予算内容  
 前期200円/人、後期200円/人で計400円を徴収させて頂く旨提案中。  
 目的は毎年のように発生する各地の災害に対しての見舞金に充当する為です。  
 審議期間 2019年3月2日~2019年3月30日  
 承認方法 2019年3月31日(日)の地区研修・協議会での会長部会で承認の決議。  
 質疑 質疑がある場合は地区事務所あて文書にてご提出願います。

5)  
 別府東RCより、創立40周年記念式典の案内。

日時 2019年5月11日(土) 16:00~  
 場所 ホテルサンバリーアネックス  
 登録料 12,000円

## ■今後の予定

3月	3月9日(土)	米山奨学生修了式・カウンセラー感謝状贈呈式	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル
		白石繁、山田公也、宮川義行		
	3月9日(土)	熊本RC創立80周年記念式典	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル
		福井学、松本繁、松本一也、前田日出夫、村瀬直久、宮川義行、沼田敏雄、佐野茂、鈴木義親、白石繁、内田信行、山田公也		
	3月23日(土)	熊本北RC創立40周年記念式典	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル
	福井学、松本繁、村瀬直久、宮川義行、白石繁			
3月30日(土)	米山奨学生世話クラブ説明会	大分県 大分市	ホルトホール大分	
	内田信行、山田公也			
3月31日(日)	地区研修・協議会	大分県 大分市	ホルトホール大分	
	山田公也、宮川義行、内田信行、中島祐爾、永野昭一、吉田嘉昭、福井学、松本一也、白木誠一、堤勝也、杉本整哉、前田日出夫			

5月	5月12日(日)	会長ノミニー 研修セミナー	大分県 大分市	ホルトホール大分
松本一也				
6月	6月8日(土)	熊本平成RC創立30 周年記念例会	熊本県 熊本市	ANAクラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ
これから案内				

## ■委員会報告

(青少年奉仕担当委員 宮川義行)



- 熊本東南RAC 3月例会の案内
- 第34回留学生交流会の案内
- 先日(3月2日)中津でPETSにあわせてローターアクト指導者研修会が行われ、東南ローターアクトの平山さな枝次年度会長と共に参加してきました。会員増強をテーマに活発な意見交換がされました。



## ■出席報告

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
02月20日	45 (免3) 42	31	5	36	85.71
03月06日	45 (免2) 43	31			72.09

☆出席免除

02月20日 島村徹男 住江正治 鷲山法雲 古庄浩二  
 03月06日 島村徹男 住江正治

☆欠席者 6名

02月20日 西村陽介 内田敏視 渡邊一弘 川崎直樹  
 山坂哲生 山本浩之

今度の100%出席の日は 3月27日です。

## ■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 松岡歩紗実)



◎宮川義行 5,000円

本日アクト卓話です。平山、櫻井両君よろしくお願ひします。  
 3月2日はPETS(会長エレクト研修セミナー)、参加の内田会員お疲れ様でした。私も古田副委員長の代理で職業奉仕の打ち合わせに参加、そのままローターアクト指導者研修会に参加、地区アクトの抱える問題点を話し合いました。熊本東南ローターも若い会員が増えてアクトとの交流とかが盛んになってくれればいいなと思っています。

◎杉本整哉 2,000円

今日は所用のため早退しますので、お詫びのスマイルです。

## ■ローターアクト委員会卓話

(熊本東南RAC 平山さな枝君、櫻井一隆君)



本日は貴重な時間をいただきありがとうございます。  
今期幹事を務めさせていただきます平山です。  
よろしくお願いいたします。

まずはローターアクトのことについて、少しだけ紹介したいと思います。  
私たちローターアクトクラブは、五代奉仕の中の青少年奉仕部門の中に属しています。

日本だけでも 10,904 クラブ 250,792 人が活動し、その中で、2720 地区では熊本グループに9つのクラブ、そして大分グループには6つのクラブがあります。

2018 年度 12 月末時点の会員数は熊本 80 名、大分 52 名、計 132 名が活動しています。

その中で私たち熊本東南ローターアクトクラブは、現在 4 名で構成し活動しています。

毎月 2 回活動を行い、会員の個性や得意なことを活かした例会を開催し、他クラブとの交流や社会奉仕活動、地域貢献を目標にして活動を行なっています。

さて、今期も残り 4 ヶ月となりましたが、実は 3 月 2 日に大分県中津市で行われました、PETS に会長エレクトとしてローターアクト指導者研修会に参加して参りました。



本来ならこの PETS は、ロータリークラブの会長エレクトが受ける研修であります。一昨年 1 月に RI 理事にて今年度から次期クラブ会長の研修もあわせて行うべきと決定したとのことで、青少年奉仕部門が中心となり今回、ローターアクトの会長エレクトも研修を行いました。

中津市を訪れたのは 2 回目ですが、運転する道のりとしては地味に長い距離ですね。



Google のナビに開催地のグランプラザ中津ホテルの住所を入れたら丁度 100 キロと出てきました。時間で言えば下道で 3 時間と少しでしょうか。そんな道のりを乗り越えて、各クラブの会長エレクトと河津代表エレクトと一緒に研修セミナーの開会式から参加いたしました。

2019-20 年度の開始まで 4 ヶ月。RI 会長テーマや、ガバナーエレクトの地区方針を拝聴しました。

滝ガバナーエレクトは国際協議会に参加されたことを話してくださいました。その時 60 名のローターアクトクラブが参加していたそうです。日本人はその内 3 名参加していたようです。ちなみに応募は 1600 人あったそうです。ローターアクトを前面に押し出し、若い人の参加を積極的に推進するというなみなみならぬ意欲を感じたということで、今ローターアクトに期待が寄せられているということは、とても身の引き締まる思いを感じました。

それにあわせ、午後から行われたローターアクト指導者研修会では、

河津代表エレクトが次年度の地区方針を発表しました。

テーマは「えん JOY `ACT。」

今を自ら進んで楽しみ、挑戦し、ローターアクトという縁を大切に  
するそういう想いが込められています。

アクトに入ったからには楽しんで活動してほしい。河津代表エレクトがよく言っている言葉です。

楽しくなければアクトじゃない

楽しくないなら楽しめるように工夫を

楽しめているなら、もっと楽しく、楽しさを周囲に伝えていく

ただやるだけではない、意義を持った活動をし、仲間と楽しんで活動の輪を広げていくことが大事なんだと、河津代表エレクトは言っていました。

指導者研修会の中で、効果的なローターアクトクラブになるための活動計画の指標を書く時間がありました。

その中で、「新会員にとって魅力あるクラブとなる上で、妨げとなっているのはどのような点か」という文がありました。

私はそれに会員不足による、活動幅の減少と書きました。

より良い活動を続けていく中で、今 1 番の問題は人員不足です。

どこのクラブも、同じように人員不足になやんでいるようで、会員を増やすために頑張っている活動しています。

私が友人から初めてアクトに見学に誘われた時、楽しいから一度でいいから来てみない？と声をかけてくれました。

もちろん、迷うことなく行くと答えました。

それは友人から誘われる前に、アクトで活動していることと、どういった活動をしているとよく聞いていたからです。

入会してからは初めてで戸惑うところはありませんでしたが、一緒に活動していく中で、沢山の出会いがありました。仲間も沢山できました。

楽しさも貴重な体験も沢山、沢山体験しました。

そんな楽しさを、沢山のの人に体験してほしいなど、日々感じています。

新入会員を獲得するために、知り合いに声をかけたりしていますが、活動していく上で見学に来てくれる人を誘う時に、どう誘おうか迷う時があります。

楽しいよ、というのはとても簡単で、けれども実際、誘うからにはその活動そのものが見学に来てくれた人の心に響くものである方が、更に楽しさが周囲に伝わっていく気がします。

だからこそ、毎月行う例会を盛り上げて開催するというのが毎回の課題であります。

人を呼ぶためにはどういう例会をした方がいいのか、とか。何をしたら楽しめる例会が作れるのかとか。

クラブを運営していく上で、1 番の課題なのではないかと思いま

PETS のレセプションでも、クラブ運営についてのアイデア交換を、2 グループに分かれて行いました。

次年度に何をやりたいかという題材を元に、沢山のやりたい事が出てきました。

私たちのグループでは大きく分けて 3 つの分類に別れました。

- ・ロータリーファミリーとの交流
- ・やってみたい例会、事業、イベントなど
- ・新しいクラブ体制を作るためにやる事

実のところすごく盛り上がりました。  
話しているうちに、この例会はこうした方がいいんじゃないか。これと組み合わせたらこういうことができるのではないかと、沢山の意見が出てきました。

例えば、キッチンカーを使った奉仕活動がしたい＋福祉施設を絡めた活動がしたい＋水風船で逃走中がやりたい  
この時点ではあまり関連がありませんが、うまく組み合わせれば、沢山のバリエーションが生まれることがわかりました。  
この三つをまとめて組み合わせると、「子供達を対象とした奉仕活動でキッチンカーで食事提供をし、水風船を使って一緒に遊ぶイベントを企画する。」です。

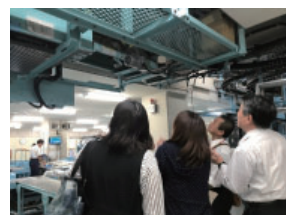
そのほかにもたくさんの企画案が組み合わせにより誕生しました。混ぜこぜではありますが、沢山のひと意見があればあるほど、沢山の例会を作ることができるなと思いました。

これは他クラブとの交流を含めて、例えばそれがグループで行事を行いことに繋がったり、ローターアクトクラブの認知度を増やすという目標を立てることに繋がると思います。  
そこで、その中で今期私たちが実施したいいくつかの例会を紹介したいと思います。

下通商店街 PARCO 前にて、西日本で甚大な被害を及ぼした、平成30年7月豪雨(西日本豪雨災害)への復興支援募金活動を行いました。募金箱、大きいボードは地区事務局から借りて、ボードはダンボールを集めて手作りしました。

企画から実行まで合わせて半月もない緊急例会でしたが、たくさんの応援をいただいたおかげで、集まった金額「139,674円」は無事に被災地へお届けすることができました。  
参加されていた全てのロータリアンの方々にご支援いただき、素晴らしい活動をやり遂げることができました。本当にありがとうございました。  
続いて、10月第1例会です。

新聞の魅力を変えて発見しようというので、



10月13日に「熊本日日新聞社・新聞博物館見学」を行いました。ちなみに櫻井会員が担当しました。今回は特別に館内を案内していただき、普段見ることのできない新聞の印刷工程や新聞の歴史などを見てきました。新聞を作られるところを初めて見ましたが、印刷されたばかりの新聞はすごく柔らかく、とても感動しました。新聞発行にはたくさんの人が関わっていて、読者の皆さんに確実に情報を届ける仕組みができていたことを知りました。

博物館では、初めて新聞を作った主導の印刷機や、歴代の進化していった新聞を作るための機械が展示してありました。昔は小さな鉄でできた文字板の部品を手作業で1つ1つ組み合わせで新聞を作成していたそうです。実際にその文字板や部品も見てきました。

しかし、熊本地震の影響で展示物が倒れているところもあり、細かい部品は膨大な量のため、散乱したものは今でもそのままにしているそうです。

その他にも、新聞の記事を展示してあるのをみました。昔の手書きの新聞から今皆さんが読んでらっしゃる新聞まで、時代暦に並んで展示されていました。時代ごとに掲載されていた漫画なども展示されていて、とてもたのしかったです。沢山のことを学んだ例会になったかと思います！

10月第2例会に行った江津湖公園清掃活動  
今年の10月21日に上江津地区の公園清掃を行いました。

継続して行える代表的な活動として始めたこの清掃活動は今年で2回目になります。前回実施の2月に比べ、草が枯れていなくて袋に詰めやすいと想定しましたが、枯れていない分、草の長さが関係し、結果的に倍の量になって処理が大変でした。



ですが、参加して頂いた皆様のおかげで無事終わることができました。作業時間を大幅に超えてしまったり、草刈り機が壊れていたり様々なハプニングもありましたが、それをまた次回の課題として活かしてもっといい活動にしていきたいと思っています。  
反省点はあったものの、作業後に綺麗になった川の中に早速子供が入って、遊んでいる様子を見ることができました。

今回清掃を行った箇所は深いところでも水位は脛あたりまでしかないので、こうやって楽しそうに子供達が遊んでいる風景を見ることができました。

前年度は草を刈り終わった後に、白サギや小さな鳥が川に入っているのを見ることができました。そういう光景をみたら、ああ、やってよかったなど、とても清々しい気持ちになりました。  
清掃をして良かったなど本当に心から、嬉しく思いました。

さて、今期実施した中でも3つの活動をご紹介します。熊本東南ローターアクトクラブは、毎月第1、第3火曜日の20時から例会を行います。現在は会員が平日の夜に集まることが難しいため、会員の集まりがいい土日に例会が集中しています。人を少しでも呼び込むために例会を考えてはいますが、先程も言いました通り、会員不足により会員一人一人の担当例会が早く回ってくるため、負担が増えている状況にあります

次年度は指導者研修会で出た案を活用して、今出ているリスクを解消しつつ、より良いクラブ活動をできるようにできたらと思います。そこでぜひロータリークラブの皆様にもご協力をお願いしたいと考えています。  
例えば、今の例会内容プラスで、ロータリークラブの皆様と一緒にできる例会を増やしたり、こちらから卓話を依頼したりと、沢山のことができると思います。

他クラブとの合同例会も行う予定なので、皆さまぜひ参加していただき、他クラブのアクターとも沢山お話をしてお話していただきたいと思います。その際は、快く引き受けてくだされば幸いです。今後とも熊本東南ローターアクトクラブをよろしく願いいたします。

■点鐘

編集者 松岡泰光